

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	腸内環境からみた糖尿病患者の腎機能障害予測
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	消化管内科
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 佐々木 誠人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	糖尿病患者の腎機能に及ぼす腸内環境の影響を検討し、糖尿病性腎症の予防を目的とした腸内環境の改善治療を探索する。
対象となる患者さん	2015年に行われた健常者と糖尿病患者の腸内細菌叢の比較研究に参加された健常人・糖尿病患者さん。
研究の方法	上記対象者の既存の試料(保存血清)を用いて新たに尿毒症物質3分画(フェニル硫酸、パラクレシル硫酸、インドキシル硫酸)を測定し、腸内細菌叢(既存データ)と尿毒性物質の関連を調べます。そし診療録から現在の腎機能を調査し、腸内細菌叢、尿毒症物質3分画、あるいはその組み合わせにより腎機能増悪悪化の因子を探索・予測します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2026年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料: 保存血清 情報: 既存のデータ(腸内細菌、採血結果)、診療録(腎機能)
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化管内科 担当者: (職名) 助教 (氏名) 足立和規 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23480)